

■豪州：2030年の再エネ比率が50%に達する見通し

2019年5月28日付の報道によると、オーストラリアの再エネ分野のシンクタンク **RepuTex Energy** は、東部6州・地域が参加する卸電力市場（NEM）において、2030年までに発電電力量に占める再エネの割合が50%に達するとの見通しを明らかにした。5月18日に行われた総選挙では、再エネ導入目標について、与党・保守連合は現状維持の「2020年23.5%」とする一方、野党・労働党は「2030年50%」への引き上げを公約していた。**RepuTex Energy** によると、今回の保守連合の勝利により、連邦政府の再エネ政策の変更がないとしても、州政府（特に、クイーンズランド州およびビクトリア州）による再エネ導入促進策により、結果的に目標を上回る設備が導入されると分析している。